

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 6 月 4 日 (2009.6.4)

【公開番号】特開 2007-176919 (P2007-176919A)

【公開日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【年通号数】公開・登録公報 2007-026

【出願番号】特願 2006-138407 (P2006-138407)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/12 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

A 2 3 L 2/00 (2006.01)

A 2 3 L 2/38 (2006.01)

A 6 1 K 36/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/12

A 2 3 L 1/30 B

A 2 3 L 1/30 Z

A 2 3 L 2/00 B

A 2 3 L 2/38 C

A 2 3 L 2/38 Z

A 6 1 K 35/78

A 6 1 P 3/10

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 17 日 (2009.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アシタバの含水アルコール抽出物および H L B が 10 ~ 20 である乳化剤を含有することを特徴とするカルコン類化合物含有組成物。

【請求項 2】

含水アルコールが、40 ~ 95 % (w / w) のエタノール水溶液である請求項 1 記載のカルコン類化合物含有組成物。

【請求項 3】

乳化剤の含有量がキサントアンゲロール及び 4 - ハイドロキシデリシンの総含有量 1 g に対して 10 ~ 1000 g である請求項 2 に記載のカルコン類化合物含有組成物。

【請求項 4】

乳化剤が、ポリグリセリン脂肪酸エステルである請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のカルコン類化合物含有組成物。

【請求項 5】

アシタバの含水アルコール抽出物が下記工程により得られたものである請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のカルコン類化合物含有組成物。

(a) アシタバを 45 ~ 120 で熱水処理し、圧搾する工程

(b) (a) で得られた圧搾残渣に、抽出溶媒として含水アルコールを添加し、抽出する

工程

(c)(b)で得られた抽出液をろ過する工程

【請求項6】

請求項1～5のいずれか1項に記載のカルコン類化合物含有組成物を含有する食品。

【請求項7】

容器詰飲料である請求項6記載の食品。

【請求項8】

下記工程(a)～(c)を包含するアシタバの含水アルコール抽出物の製造方法。

(a)アシタバを45～120で熱水処理し、圧搾する工程

(b)(a)で得られた圧搾残渣に、抽出溶媒として含水アルコールを添加し、抽出する工程

(c)(b)で得られた抽出液をろ過する工程

【請求項9】

含水アルコールが、40～95%(w/w)のエタノール水溶液である請求項8記載のアシタバの含水アルコール抽出物の製造方法。

【請求項10】

下記工程(a)～(d)を包含するカルコン類化合物含有組成物の製造方法。

(a)アシタバを45～120で熱水処理し、圧搾する工程

(b)(a)工程で得られた圧搾残渣に、抽出溶媒として含水アルコールを添加し、抽出する工程

(c)(b)工程で得られた抽出液をろ過する工程

(d)(c)工程で得られたろ液に乳化剤を添加し混合する工程

【請求項11】

含水アルコールが、40～95%(w/w)のエタノール水溶液である請求項10記載のカルコン類化合物含有組成物の製造方法。

【請求項12】

乳化剤のHLBが10～20である請求項10または11記載のカルコン類化合物含有組成物の製造方法。

【請求項13】

乳化剤がポリグリセリン脂肪酸エステルである請求項10～12いずれか1項に記載のカルコン類化合物含有組成物の製造方法。